

### リサイクルのバイオニア!

産業廃棄物の収集運搬・中間処理  
 アスベスト処理に関するすべての工程を請け負います。  
 問い合わせ先：環境化学工学部 TEL.03(5267)5930 FAX.03(5272)1190

**新和环境株式会社**  
 http://www.shinwa-eco.com

# 循環経済新聞

The Recycling Economy Times

5月9日 No.1055  
 2011年(平成23年) 週刊 月曜発行  
 発行人 河村 勝志  
 平成元年9月22日 第3種郵便物認可  
 購読料 年間 24,000円(前約) 1部 520円

### 首都圏初 PCB汚染土壌処理施設

株式会社 日報アイビー  
 Vision Unity Vainy

TEL 046-633-6700 FAX 046-633-0755

## 宮城県 災害廃棄物「組合」で処理

### 近隣県の業者も加盟

#### 大規模災害廃棄物処理有責任事業者組合



宮城県内で大震災で発生した災害廃棄物の円滑な処理を目的とした「大規模災害廃棄物処理有責任事業者組合」が発足した。宮城県のほかに山形県、秋田県、新潟県の業者も加盟。収集運搬、処理業者も加盟。収集運搬から処理までを一貫して行う。組合では、岩沼市から業務委託を受けて、市内にある災害廃棄物の集積所で破砕・選別作業にあたる。宮城県の推計では、震災後の災害廃棄物は3年以内の処理完了を目標としているが、発生した災害廃棄物の量が膨大な上、宮城県内の沿岸部の処理施設が軒並み被災したことから、県内の処理施設だけでは処理に追いつかない状況。組合の加盟会社は、ジェーイーシー、ナイースクリーン(仙台市)、アシスト(山形県村山市)、キヨシミ産研(山形市)、クリンシステム(山形市)、東北クリン(開成(山形市)、クリンカンパニー(秋田県羽後町)、東産商(秋田市)、マルカコ(秋田市)、アールカコ(秋田市)、北陸保全工業(新潟市)、ライフ(宮城県名取市)、旭栄興業(仙台市)、高橋建設(宮城県角田市)、東北ロードテック(仙台市)の14社。

## 被災船舶処理で暫定指針

### 国交省と自治体に目安を示す

国土交通省などは、東日本大震災で被災した船舶を地方公共団体が処理を進める際のガイドライン(暫定版)を取りまとめた。被災船舶の一般的な処理手順については、移動できる船舶は必要に応じて仮置き場などに移動できる船舶の転倒や燃料漏れなど二次災害のおそれがある

場合によっては仮置き場を必要としない。船舶の移動や油抜き取りなどの措置を講じると困難な状態にある船舶を優先的に処理する。所有者が不明な船舶は、連絡がつかない場合でも、これらに該当し、災害廃棄物の処理、復旧活動の妨げにならないよう処理できるものとして、国土交通省海事局、日本小型船舶検査機構と認められる。民間業者や日本小型船舶検査機構

#### 建造年とアスベスト使用状況・規制の概要

～1975年ごろ	吹き付けアスベストが使用されていた可能性もある
1975年～1990年ごろ	内装材、断熱材などについて、一部の造船所でアスベストの使用実績がある
1990年ごろ～2002年6月	機室内部の断熱材・パッキンや船室のブルークリアリングなどに限り、一部の中小造船所でアスベストの使用実績がある
2002年7月～2006年8月	船舶安全法に基づき、アスベストの使用は一部(高温下で使用される水密継ぎ手など)を除いて禁止となる
2006年	船舶などの社会を代表して、船舶のアスベスト除去に努めよう造船事業者へ通達する
2006年9月～	船舶安全法に基づき、アスベストの使用が全面禁止となる

## 家電・電子機器R工場開始

### DOWエコシステムほか

#### 大型破砕やフロン回収も

を今年初頭から開始した。4月から全ラインが本格的に稼働し、たどると明らかに、中国国内では、日本の家電リサイクル法を模倣して、家電電子機器の適正処理を目的として制定された「家電電子機器R工場」が、天津市の郊外にある。DOWエコシステムと住友商事が、中国の天津市郊外に再生資源回収利用有責任事業者と共同で設立した「天津同和環境資源再生有限公司」が、中国国内を回収対象とする家電・電子機器リサイクル工場の受け入れ

管理事例」が2011年1月1日より施行。家電5品目(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・パソコン)のリサイクルが義務化された。中国で、5大国家中心都市の一つであり1200万人を抱える天津市では、毎年約150万台の家電リサイクル需要が見込まれる。DOWグループと住友商事は事業参画のため、天津同和の工場建設を進めてきた。今般竣工の工場は、大型破砕機やフロン回収装置など日本ノウハウや技術を活用の設備を備え、将来的には処理能力を年間40万台まで拡大する予定だ。日本同様、環境や安全にも配慮した。中国における家電リサイ

## 鈴鹿エコセンター

### インターネット 日報ホームページ

<http://www.nippo.co.jp/>  
 【包装・廃棄物・環境の「製品情報」発信中】

三重県鈴鹿市がPFI方式で建設を進めてきた「鈴鹿市不燃物リサイクルセンター」の「不燃・粗大ごみ処理施設」および関連施設が完成。4月から本格稼働を開始した。昨年完成した容器包装プラスチック処理施設を含む建設事業費は約43億円。新明和工業(兵庫県宝塚市)などで構成する特別目的会社「SFC(鈴鹿エコセンター)」が施設の設計・建設・維持管理・運営業務を担う。

同施設は地上3階建。選別機・粒度選別機・風で、処理能力は1日当たり150トン。鉄(1アル)投入された不燃物、粗大ごみを一次破砕機に選別する。二次破砕機と二次破砕機で破砕し、改良型の樹根破砕機した後、磁選機・アルミを導入して、よ



## 不燃・粗大ごみ 処理施設が稼働

### PFI方式で建設・運営

り細かな選別が可能と。1760トンの10種16分なり、有価物の抽出率別により、同年度の再リサイクル率の向上を図った。鈴鹿市のごみ発生量は2009年度で7万トン。現在の最終処分場が14年度中に埋立完了の見込みとなっており、07年にリサイクルセンター2期事業を立ち上げたという。新明和工業のほか、マライト工業(日野市)とビニル坂田建設(アタ